

鴨川市の鴨川シーワールドで12日、成人式が開かれ、海の力ナリアとして人気の「ペルーガ」が新成人の門出を祝った。(記事4面)



### 鴨川シーワールド

## ペルーガも祝福 新成人 県内6万3727人

### 少子化で2年ぶり減

令和最初の「成人の日」を13日に控え、県は県内の今年の新成人数が6万3727人と発表した。前年比1.4%(895人)減で、2年ぶりに減少に転じた。少子化で出生数自体が少なく、把握できるピーク時の6割程度の水準が続いている。一方、民法改正で2022年4月以降は成人年齢が20歳から18歳に引き下げられ、令和最初の成人の日となるが、県によると、18歳時に式を行うと決めた県内自治体はないという。今年の新成人は1999年4月2日(2000年4月1日)生まれ。新成人数は各市町村からの報告を県がとりまとめ、市町村別だと、最多は千葉市の1万254人、最少は長柄町の53人となった。(関連記事2、17面)

人数が減ったのは37市町村。減少幅が特に大きかったのは芝山町で23.2%。19.3%で館山市と長生村が続いた。統計が残っている1993年以降、県内の新成人数は94年の10万6793人をピークに減少傾向で、2014年には6万289人に落ち込んだ。今年もピーク時と比べると6割程度の水準だ。成人式は11、13日、全54

市町村の78会場が開かれ、12日に実施が43市町村で最多。例年通り成田市は成田空港(12日)、浦安市は東京ディズニーランド(13日)で。森田健作知事は9日の記者会見で「若いうちはいろいろ夢があると思う。やり通してほしい」と、新成人にエールを送った。

民法が改正されたが、県によると、今のところ18歳で式を行うと決めた県内自治体はない。18歳だと大学受験など進路選択の時期と重なり、本人や保護者の負担が増すのが主な理由だ。これまでに白井市など県内14自治体が、成人年齢引き下げ後も、例年通り20歳での式典実施を決めている。白井市では対象となる中学3年と高校2年の生徒にアンケートを行い判断した。「はたちの集い」などに名称を改める方針の自治体もあるという。

鴨川シー  
ワールド

# 海のカナリア門出祝う

## 新成人、ベルーガと記念撮影



ベルーガと一緒に記念写真を撮る新成人。12日、鴨川市の鴨川シーワールド

鴨川市の成人式が12日、同市の鴨川シーワールドで開かれた。市の新成人241人が出席。美しい声で鳴き「海のカナリア」として人気の「ベルーガ」も登場し、新成人の門出を祝った。

式典では、新成人を代表して張磨和さんと正木かえでさんが決意表明。昨年、南房総地域を襲った台風などの災害について触れ「復興を支援してくださった皆さまに感謝し、希望にあふれる町にしたい」と抱負を述べた。

式の最後にはベルーガで雌の「マーシャ」と雄の「ナック」が駆けつけ、高い声で鳴いたり、胸びれを手のように振ったりするパフォーマンスで祝福。新成人は記念写真を撮って、家族や友人と共に喜びを分かち合った。